

平成30年度予算が決まりました

市議会3月定例会で平成30年度当初予算が可決されました。一般会計予算は平成29年度比2.4%増の771億円です。

■平成30年度予算の主な事業

※()内は、紹介内容が属する事業名/予算額/担当課。予算額には紹介内容以外の事業の金額も含まれます。

中央林間東急スクエア内に新施設

中央林間東急スクエア内に図書館、子育て支援施設、市民課窓口などの3公共施設が4月にオープンしました。



(図書館管理運営事業/533,631千円/図書・学び交流課)ほか3事業

(仮称)大和市特別支援教育センターを整備

県内初となる特別支援教育に関する総合的施設を来年度開設に向け整備。特別支援教育を必要とする児童・生徒などについての相談・支援、教職員の研修などを実施します。

(特別支援教育推進事業/100,347千円/指導室)

民間保育所の新設などを支援

子育てしやすい環境づくりの充実のため、保育所など9施設の整備を支援します。



(民間保育所建設・増設支援事業/311,508千円/ほいく課)

「赤ちゃんまもるくん2」を開始

乳児の睡眠時における事故を防止するため、保育施設などに無呼吸アラームを配付し、より安全な保育環境を整えます。



(保育所等乳児見守り安全対策事業/32,400千円/ほいく課)

地域の経済活性化を促進

事業の拡大や従業員の健康づくりに取り組む企業を新たに奨励するなど、企業活動を支援します。



(企業活動促進支援事業/6,383千円/産業活性化課)

老人福祉施設の新設を支援

特別養護老人ホーム1施設や定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所1か所の整備を支援します。



(老人福祉施設建設等支援事業/76,728千円/介護保険課)

タブレットを活用した認知機能検査を本格実施

タブレットを活用した認知機能検査と簡単な体力測定を合わせた「脳とからだの健康チェック」の本格実施など、介護予防に取り組みます。



(一般介護予防事業/52,844千円/高齢福祉課)

いじめに対する施策を充実

市立中学校の生徒を対象にいじめの早期発見・解消のため、生徒が匿名で通報・相談できるスマートフォン用アプリ「STOP it」の導入など、いじめ対策を充実していきます。



(いじめ等対策事業/20,480千円/指導室)

大和園場跡地を、防災機能を備えた公園に整備

大和園場跡地を防災機能を備えた公園とするため、公園の整備や防災備蓄倉庫の建設を進めます。

((仮称)大和園場跡公園整備事業/350,356千円/みどり公園課)ほか3事業

ボール遊びもできる公園を充実

ボール遊びもできる公園への改修や遊具の補修など、既設公園の設備を充実します。25年度には0か所だったボール遊びもできる公園は、今年度で36か所となる予定です。

(既設公園等大規模改修事業/177,687千円/みどり公園課)

歩く健康づくりを推進

道路へのウォーキングサインの設置や啓発イベントなどを通して、広く市民に歩くことを働きかけます。



(歩く健康づくり事業/6,522千円/健康づくり推進課)

中学3年生の学力向上対策の充実

市立中学校の3年生を対象に夏休み・冬休み中に入試対策を含めた学習支援を実施するなど、学力向上を後押しします。



(学力向上対策推進事業/142,999千円/指導室)

大和市北部文化・スポーツ・子育てセンターを設置

旧市営緑野住宅跡地に、アリーナなどを備えた大和市北部文化・スポーツ・子育てセンターが8月に開館します。



(中央林間駅周辺まちづくり事業/1,743,698千円/街づくり総務課)ほか5事業

認知症対策としてコグニバイクの活用を推進



簡単な計算などしながらペダルをこぐ「コグニバイク」の活用を進めるなど、認知症施策を実施します。

(認知症施策推進事業/6,899千円/高齢福祉課)

振り込め詐欺防止策を強化

急増する振り込め詐欺の防止策として、詐欺や悪質なセールスの電話を自動で着信拒否する迷惑電話フィルタボックスの設置希望者の募集などをします。



(地域防犯活動推進事業/22,323千円/生活あんしん課)

「70歳代を高齢者と 言わない都市 やまと」宣言



高齢者の定義については、平成29年1月に日本老年学会・日本老年医学会により75歳以上とすることが提言されました。

国においては、「人生100年時代」を見据えた経済、社会システムの実現に向けた検討が進められています。また、県も誰もが100歳まで元気で、社会から必要とされる「生涯現役」であるとの認識を広めていく必要があるとしています。

市では、こうした大きな流れを捉えて、この世代のかたがたに対してポジティブなメッセージを送りたいと考え、「高齢者と言わない」世代の認識を70歳代に引き上げることとし、宣言をしました。

※今回の宣言は法律や条例、社会保障制度などにおける「高齢者」の定義や対象者、運用などを変更するものではありません。

「70歳代を高齢者と 言わない都市 やまと」宣言

- ・「人生100年時代」を迎える超高齢社会では、一般に65歳以上を高齢者とする固定観念を変えていく必要があります。
- ・年齢を重ねても、自らの健康を維持し、自立した生活を送れるよう努めている方、豊かな知識と経験を生かし、様々な役割を果たしている方など、一人ひとりが大和のかけがえのない存在です。
- ・支えを必要とする方には手を差し伸べながら、この世代の方々が、個々の意欲や能力に応じて、いつまでも生き生きと活躍していただきたいと考え、「70歳代を高齢者と言わない」ことを宣言します。

平成30年4月11日

問い合わせは▶ 市役所政策総務課健康都市推進担当 ☎046-260-5327 FAX 046-261-4592。

（仮称）大和市版オリンピック2018の 正式名称と出場選手を募集

競技種目
出場選手全員に
お米(1俵)
差し上げます

市は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを盛り上げることを目的に、市民とさまざまな国や地域の人に参加する「(仮称)大和市版オリンピック2018」を開催します。

と き▶ 7月16日(祝) 午前9時30分～午後3時(予定)

と ころ▶ 大和なでしこスタジアム(大和スポーツセンター競技場)

競技種目▶ 100[㍓]走、800[㍓]走、スタディオ[㍓](約180[㍓])走、走り幅跳び、
フライングディスクスロー、綱引き(1対1)



正式名称、出場選手とも申込用紙は大和スポーツセンター、市役所国際・男女共同参画課、(公財)大和市国際化協会に配布するほか、市のホームページからダウンロードもできます。

■正式名称募集

対 象▶ 市内在住・在勤・在学者

申し込み▶ 5月1日(火)～20日(日)(消印)に申込用紙を直接または郵送で〒242-0029上草柳1-1-1大和スポーツセンター内市スポーツ課へ。

※「○○ピック」、「TOKYO2020」、「スポーツの祭典」などオリンピックを想起させる文言などは使用できません。

■出場選手募集

対象/定員▶ 市内在住者または市外在住で外国にルーツのある人(いずれも中学生以上)/500人程度(定員を超えた場合は抽選)

申し込み▶ 5月1日(火)～31日(木)に申込用紙を直接各申し込み先へ。

申込先▶ 同イベントでの登録国を日本にしたい人は大和スポーツセンターへ。日本以外にしたい人は市役所国際・男女共同参画課または市民活動拠点ベテルギウス北館内(公財)大和市国際化協会へ。

問い合わせは▶ 大和スポーツセンター内市スポーツ課スポーツ担当 ☎046-260-5762 FAX 046-262-9514。